

< 基礎単価から体制整備単価へ移行した事例 >

共同使用機械の有効活用で営農の能率化を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県 <small>やまぐち</small> 山口市・小鯖 <small>おさぼ</small> 5区			
協定面積 19.4h	田(100%) 米、他野菜	畑	草地	採草放牧地
a				
交付金額 233万 円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	水路・農道維持管理費、鳥獣害防止対策費		10%
		共同使用機械管理保管庫建設の為の積立		30%
		その他		10%
協定参加者	農業者 27人、その他10人(うち、非農家7人)			

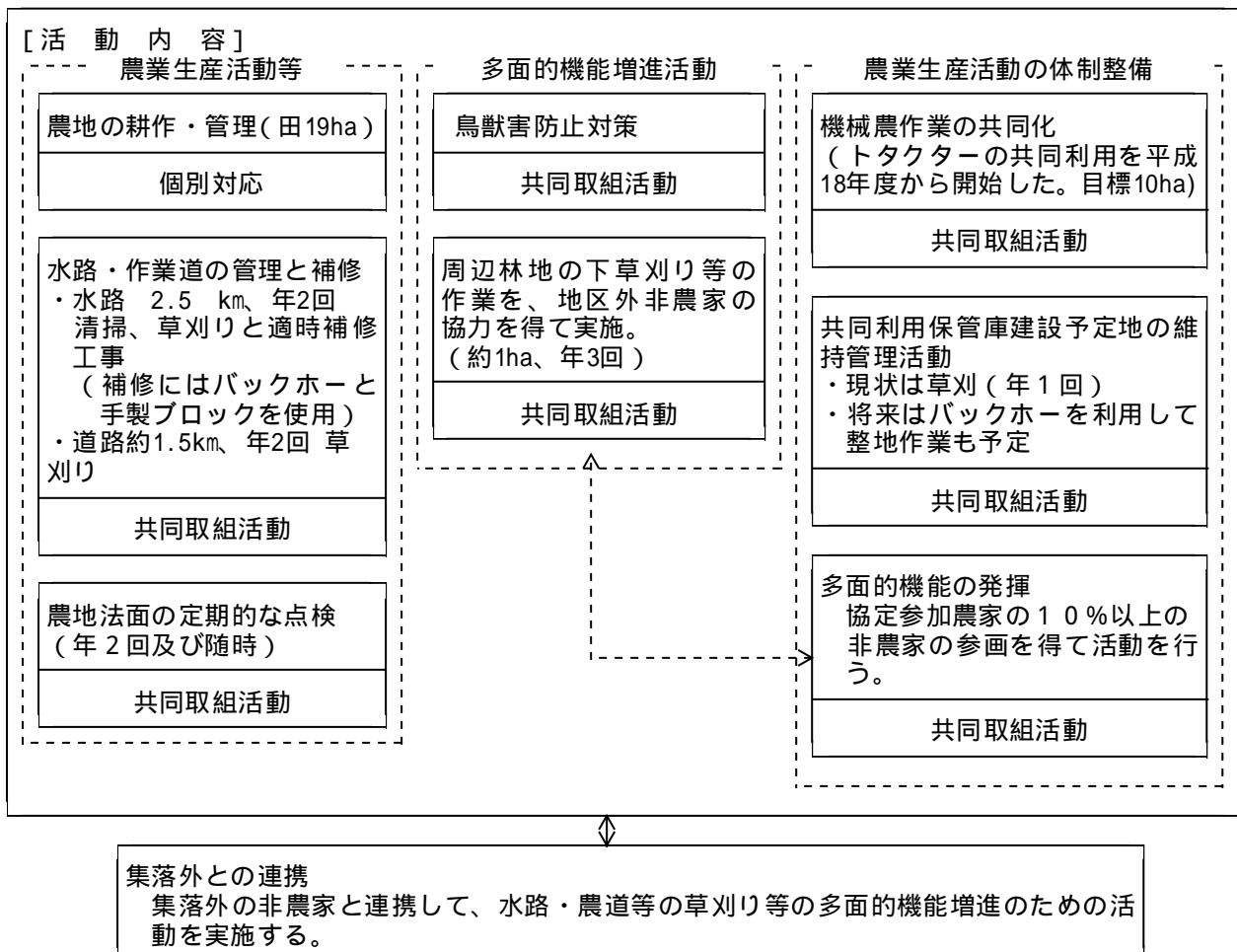
2. 集落マスタープランの概要

集落マスタープラン

・今後見込まれる定年退職者の就農と協定への参加を誘導し、兼業農家主体の営農組織を充実させていく。さらに、農地の耕作放棄防止のため、安定した農業経営をめざし、明るい集落の構築を図りたい。

5年間の取組

- ・交付金を活用し、共同機械のトラクターを装備する。
協定農用地のうち、10.0ha以上を耕起。(協定開始時0ha)
- ・多面的機能の発揮に取り組む。
非農家4人以上の参画を得て共同取組活動を実施。



3. 基礎単価に留まっていた理由

- ・ 集落協定役員の中では二期対策が始まった時の説明会で、基礎単価、体制整備単価の違いを正しく認識し、持ち帰って何度も区内での説明や協議を行っていたが、誤解等もあり、集落協定の参加者全員の理解が得られなかった。

このため、平成17年度の集落協定締結期限までには、協定参加者全員からの理解を得ることが出来ず、協議は継続することとして、やむなく基礎単価で協定を締結した。

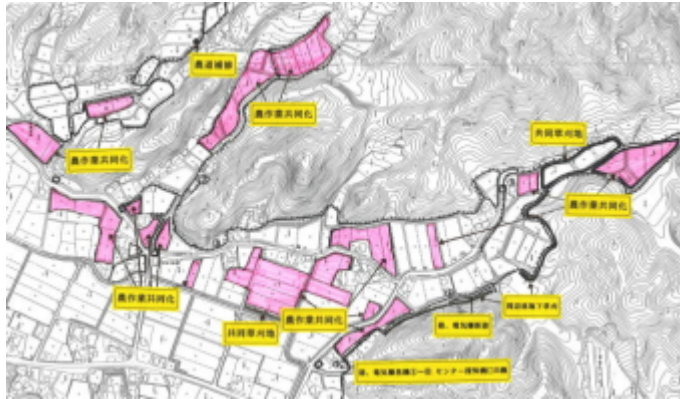
4. 体制整備単価に移行した経緯

- ・ 小鯖5区集落協定は、平成12年度から平成17年度までの交付金を積み立てて、区内で共同使用するバックホー（中古）とトラクターを購入した。このバックホーとトラクターには保管庫がなく、現状では区内農家の納屋等を転々として保管されている。使用状況によっては露天で整備作業等をすることもあり、せっかく購入したバックホーとトラクターを未永く使用するために、専用の保管庫が是非とも必要であるということは役員を始め、協定参加者の多くが考えていた。そこで役員達は、保管庫を1日も早く建設するためには、体制整備単価に移行させることが早道であるとの認識から、平成18年3月末までに協定内で協議を続け、ようやく協定参加者全員からの賛成を得ることが出来た。
- ・ 当地区は平成11年にほ場整備が完成し、農作業全般で省力化することが出来た。しかし、区内の高齢化は止まらず、多面的機能の持続的発揮活動も、少しずつだが困難になってきていた。そこで役員は、2期制度において非農家との連携を行うことを提案していたが、協定参加者達からは、自分達の水路・農道等は自分達で守るべきという考え方や、個人配分の交付金が集落外の新しい参加者に支払われることになるのではないかという誤解があったことから、全員の理解を得ることに時間を要していた。しかし、農業や多面的機能を増進する活動等を持続的に実施していくためには、参加者を集落以外からも集めなければならないことを協定参加者全員に説明し続け、平成18年3月に、ようやく賛成を得ることが出来た。

5. 今後の取組

- ・ 共同利用機械の保管庫を建設するために、これまでに場所の選定を行い、その後、その建設用地を賃借するための手続き（分筆登記）等を行ってきた。今後、交付金の積立を続け、平成21年度末までに共同利用機械（バックホーとトラクター各1台）の保管庫を建築する。保管庫建築後は機械の整備作業等も保管庫内で実施出来るため、悪天候時の作業が効率良く出来ることが期待できる。
- ・ 現在はトラクターを自己所有しているため、共同利用機械を使用しない農家が存在する。この農家に対して、所有機械が老朽化した際等は新たに購入をしないように呼びかけを行い、共同機械の利用面積を更に拡大させる。

農用地等保全マップ



【マップの解説】

- ・鳥獣害防止対策で設置されている電気柵について、一部増設を行い、効果の拡大を目指す。
- ・共同利用機械の使用を予定している10.0haについて、図面上に表示している。



共同利用機械の反復作業実習



地区外非農家と共同で草刈作業

[平成21年度までの取組目標]

集落でのトラクターの共同利用による営農の効率化・低コスト化
 (当初0ha目標10.0ha(協定農用地面積の51%))
 多面的機能の持続的発揮に向けた非農家との連携
 (当初0人 目標4人(協定参加者の14%))
 共同利用機械の保管庫を平成21年度末までに建設する